

自治会加入で住みよいまちに

自分たちの住む地域をより良いものにしていくためには、そこに住む人々がこれからの地域のあり方を考えて、お互いに協力していく必要があります。

浦添市には40の自治会があり、それぞれの自治会で独自の活動を行っています。自治会とは、そこに住む「生まれ」も「環境」も「ライフスタイル」も異なる多くの人が集い、話し合い、活動することで、地域コミュニティの活性化を図り、より良い地域づくりを目指すものです。

自治会に加入し、日頃から周りの方と交流を深め、安心・安全な住みやすい地域づくりに参加しましょう。

日常生活を送る中で、あなた一人の力では解決できないことがあるかもしれません。そんな地域の課題を、地域で解決し、住みよいまちを築いていくために活動しているのが自治会です!



美化活動

定期清掃、緑化活動を通じて地域の美化を行っています。

防犯活動

防犯パトロールや、夜間の安全を確保するために防犯灯の設置・維持管理を行っています。

伝統・文化活動

仲西・勢理客・内間の獅子舞、経塚の金鼓隊、前田の棒、小湾のアギバーリーなど地域に伝わる伝統・文化活動を行っています。

親睦活動

スポーツ大会、夏祭り等を開催し、地域の親睦を深めています。

青少年健全育成活動

子ども会や声かけ運動等を通じて、子ども達の健全育成活動を行っています。

福祉活動

独居老人への声かけや、敬老会等の地域の福祉活動を行っています。



加入の方法や各自治会の活動内容については、自治会長にお尋ねください。自分の住んでいる地域の自治会長がどなたか分からないときは、市民生活課にお問い合わせください。

■問い合わせ
市民生活課
☎876-1234 (内線3012)



宝くじが地域のために

安波茶自治会自主防災委員会では、宝くじの助成金でAEDや災害救助用セット、車いす、簡易ベッド、畳などの備品を整備しました。災害が起きたときは、「自分たちの地域は、自分たちで守る」を合言葉に、これらを活用して地域連帯の防災活動を行っています。



※財団法人自治総合センターでは、宝くじの普及広報活動の一環としてコミュニティの健全な発展を目的とした助成事業を行っています。

はいさい!! 平成22年度 浦添市南米移住者子弟研修生受入事業

ペルー・ブラジルから来ました!



この事業は、南米に移住した浦添出身者子弟の中から優秀な人材を選抜し、日本語や沖縄の文化研修、企業訪問をしながら、沖縄に対する理解を深め、帰国後は、本市と母国との架け橋として、国際交流を図ることを目的に行われています。

今年度は6月16日から12月12日までの6ヵ月間、内間コエクリン カリン ハルミさん(ペルー)、宮城ナタリアさん(ブラジル)が本市で研修を受けることになりました。

平日午前中は、日本語学校に通い、午後は、三線・書道・琉球舞踊など日本沖縄の文化を学びます。市長表敬をした二人に、儀間市長は「祖父母の生まれ育った浦添を実際に見て体験してほしい。沖縄の文化や芸能をたくさん学び、浦添市と母国との架け橋となってほしい」と、激励しました。

内間コエクリン カリン ハルミ
牧港出身(3世)
出身:ペルー共和国
年齢:23歳
趣味:映画鑑賞、読書
好きな食べ物:沖縄そば

みあしる
宮城 ナタリア
屋富祖出身(4世)
出身:ブラジル連邦共和国
年齢:18歳
趣味:散歩、料理、音楽鑑賞
好きな食べ物:沖縄そば、あしてびち、
サーターアンダギー

Hola! Mucho gusto

(スペイン語で「はじめまして」の意味)

はじめまして。内間カリンです。私は歯科医です。

今回の研修では、日本語をたくさん勉強して、沖縄の文化と歴史も習いたいです。

沖縄に来て感じたことは、沖縄はペルーより暑いです。ペルーでは雨はあまり降らないので、雨が降っていることに驚きました。沖縄の海はとてもきれいで、静かです。沖縄料理はおいしいので、沖縄料理の作り方も学びたいです。

ペルーに帰ったら、学んだことを両親や友達に教えたいです。半年間、よろしくお願いします。

Muito Prazer

(ポルトガル語で「はじめまして」の意味)

はじめまして。宮城ナタリアです。大学で繊維染色を専攻しています。今回研修に参加できることになり、私も両親も本当に楽しみにしていました。

日本語の勉強をたくさんして、おじいさん、おばあさんと日本語でお話できるようにになりたいです。沖縄の文化や沖縄料理を学び、ブラジルに帰って教えたいです。

沖縄の服はとてもきれいだと感じます。一生懸命頑張りますので、よろしくお願いします。